

平成30年度後学期 社会人公開授業

科目名	薬学史
大学名	岐阜薬科大学
講師	岐阜薬科大学 薬用資源学研究室 教授 田中 稔幸 (たなか としゆき)
初回予定日	2018年10月4日(木)
授業時間	毎週木曜日 1時限目 09:00-10:30 (全13回)
教室	三田洞キャンパス本館 第2講義室
聴講方法	対面授業(プロジェクタとプリントによって行う)
科目内容	人は長い歴史の間に数多くの薬を発見してきた。いうまでもなく薬の発見は病との闘いに必要な武器のひとつである。薬がどのような経緯で発見され、また改良されて使われていったかを知ること、言い換えるならば、数多くの研究者の努力・業績を知ることが、薬に関わる者にとって重要である。本講義では古代から現代にわたる薬にまつわるエピソードを主として化学を主眼として講義する。
注意事項	高校生は受講できません。
教科書・参考書	参考書:「薬学の歴史」(南山堂)、「くすりの話」「毒の話」「毒と薬の世界史」(中央公論新社)、「歴史の中の化合物」(東京化学同人) 必要なものについては適宜紹介する。

授業の開催日程

回	日付	項目	内容
第1回	2018年10月4日	古代から中世の薬	E-ペルシ・パピルス、神農本草経、マリア・マゲイ、正倉院薬物、錬金術、大公開時代と薬の発見
第2回	2018年10月11日	近世の薬	漢方・蘭方と本草学、平賀源内と物類品鑑、ウイザリグとゼルチルター、華岡青洲
第3回	2018年11月1日	近代の薬	秦佐八郎、高峰譲吉、鈴木梅太郎、エフェドリン
第4回	2018年11月8日	現代の薬	抗生物質、コンパクチン
第5回	2018年11月15日	日本の化学の黎明期	長井長義、黒田チカ、真島利行
第6回	2018年11月22日	民族薬物から現代薬へ	アスピリン、幻覚植物と覚醒剤から脱法ドラッグ、矢毒
第7回	2018年11月29日	自然からの贈り物	薬になった天然有機化合物の発見史
第8回	2018年12月6日	自然に学べ	日本の天然物化学発展史
第9回	2018年12月13日	海からの贈り物	海洋天然物化学と薬、フグ毒、カイメン毒
第10回	2018年12月20日	歴史を変えた薬と毒	麦角アルカロイド、モルヒネ、アトロピン、化学兵器
第11回	2019年1月10日	難病克服に挑んだ人たち	化学療法剤、アフリカ睡眠病、マラリア、HIV
第12回	2019年1月17日	がんと闘い	抗がん剤発見史、タキソール、カンプトテシン
第13回	2019年1月22日	レポート	